

## 卒業おめでとう

……終わりは、次のステップの始まり

国公立大学の2次試験前期が終わりました。試験直前まで各大学の対策講座を受講し、最後の最後まで粘って勉強してきたみなさんは、持てる力の全てを出し切ってきたことと思います。2次試験前期が終わったということは、2次試験中期、後期試験に向けての取組がスタートしたということです。また、3月2日は卒業式です。長かったこの洛北での高校生活が終わりを告げます。それは同時に、次の新しい生活に向けての出発を意味します。「終わり」は「始まり」です。そして、どのように終わるかで次の始まり方は大きく変わってくるでしょう。「終わりよければすべてよし」という言葉は、「最後さえうまくいけば、まあ途中いろいろあったけれどそれもすべて帳消しになるだろう」ということではなく、いい形で終わることができれば、次に最高のスタートが切れるという意味にも解釈できないでしょうか。

いろいろな思いを胸にいだいてみなさんは卒業していくことと思います。「最後まで頑張れるか」、「新生活の第一歩を無事に踏み出すことができるだろうか」、「果たして自分はこれからうまくやっていけるのか」等々。期待よりも不安の方が多いかもかもしれませんが、不安の裏側には必ず期待が隠れています。「終わりは始まり」であり、「不安は期待」です。

少し早いですが、御卒業おめでとうございます。

## 進路指導部からのお願い

すでに進路が決定して次に向けての準備も順調に進んでいるみなさん、また新たに合格が決定してほっと一息ついているみなさん、そしてこれから進路が決定するみなさんに、進路指導部から幾つかのお願いがあります。いろいろとたくさん書きますが、しっかり読んでぜひよろしくお願ひします。

- 1 決定した進路先をしっかりと報告してください。  
→ 合否が分かっている担任の先生へ連絡できていない場合は、速やかに報告してください。  
・「不出願」や「不受験」、最終進学先の報告も正確をお願いします。
- 2 受験報告書を書いてください。  
→ 面接や小論文試験のあった人は、その内容を忘れないうちに受験報告書を是非書いてください。(用紙は進路指導室にあります) みなさんも先輩の受験報告書を読んで、大いに参考になったことと思いますので、今度はみなさんが後輩に残す番です。
- 3 合格体験記の原稿をお願いしたときはよろしくお願ひします。  
→ みなさんの合格体験記は電子書籍にして進路ホームルーム等で後輩に配布するとともに、ホームページにも掲載したいと思っています。紙面の都合上何人かの人にお願ひすることになるとは思いますが、依頼のあったときはよろしくお願ひします。
- 4 体験談を話してください。  
→ みなさんは先輩たちの話を直接聞いて、感激したり、やる気が出たり、大いに参考になったりしたことがありますね。みなさんの3年間の努力も後輩に勇気を与えます。体験談を話す機会を作ったときにはよろしくお願ひします。
- 5 手続き等をしっかりとってください。  
→ 新たに合格が決まった人やこれから決定する人は、入学の手続きをきっちりとしてください。入学金や授業料の払込み等、すべて期限が決まっていますので、絶対に期日までに手続きを完了するようにしてください。

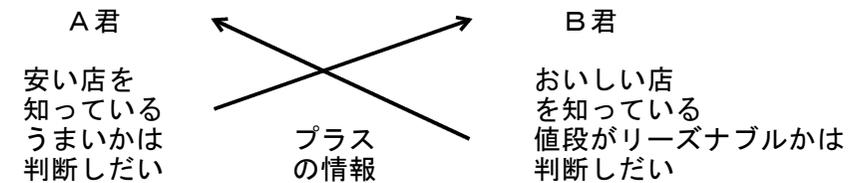
## 最後のメッセージ(進路ニュース担当太田より)

「別れは出会いの始まり」といいます。みなさんもこの3年間で、いろんな人と出会ってきました。いっしょに行事に取り組んだクラスメイト、いろいろ教えてもらった部活動の先輩、また教科でひっぱってもらった教科担当の先生、すべて「出会い」だったと思います。

「人という字は、人と人が支えあって出来ている」といいます。本当に人と人とは持ちつ持たれつだと思います。

ところでみなさんは、無人島で生活できるでしょうか。無人島では、何のルールもありません。寝たいときに寝て、食べたいときに食べればいいのです。すばらしいと思うかもしれませんが、でも、食糧を確保するだけでも大変で、きっと無人島ではそう簡単には生活できないと思います。

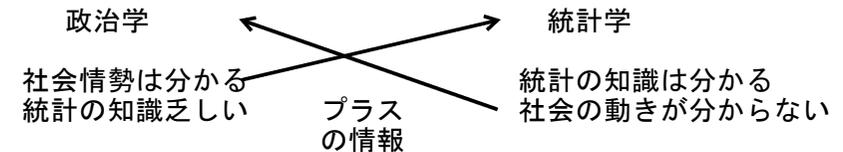
世の中はまわりとの関係で成り立っています。そうであれば、まわりとあわせていく、まわりから情報をもることが重要になってきます。情報とは不思議なものです。お金ならばA君が100円得すれば、必ず100円損しているB君がいます。プラスマイナスゼロの世界です。ところが情報は違います。安い店を知っているA君と、おいしい店を知っているB君が情報交換するだけで、二人とも両方知っている、すなわち状況に応じて安い店も、おいしい店も紹介できる立場にたてます。両者ともプラスです。マイナスの人はいません。



国と国の貿易もまさにこの例に同じです。石油などの資源は豊富だが、それを加工して使う技術が乏しい国Aと、技術はすばらしいものがあるのに資源が乏しい国Bが貿易をします。それぞれの国が鎖国していれば、お互い苦しいなあと思うだけですが、国交が行われ、AはBに資源を輸出し、BはAに技術を輸出すると話が変わり、A国、B国ともに栄えます。すなわち2国の国力の合計が物質としては変わらないのに価値として増すという手品のようなことがおこるわけです。両者プラスです。



みなさんの飛び込む社会においても、ほとんどが、チームで仕事をします。例えば選挙速報ひとつにしても、社会情勢に精通した人だけでは正しい判断はできないし、統計学の知識のある人だけでも、判断できません。社会情勢に精通した人と、統計学の知識のある人がお互いに情報を与えあって「チーム」を組めば、開票率5%の時点で当選確実が打てるのです。



このようなことは日常のありとあらゆる場面でおこっています。**人と人の出会い、交流、コミュニケーションによって、人は進歩するし、まわりの人を大切にすることによって、結局自分にもプラスになるのです。**これからみなさんは、この洛北高校を「卒業」して、いろいろな場で新たな「出会い」を迎えます。人はまわりの人からいろいろなものを吸収して成長します。ですから、この卒業も新たな「自己成長」への一歩なのです。すてきな「出会い」が待っていることを、期待します。

